

1 ESD とは

ESD とは、Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略です。

ESD では、現代社会の課題（環境・貧困・人権・平和・開発 等）を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動を進めています。

2002 年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ）」で我が国が ESD の重要性を提唱し、これを受け、同年、国連第 57 回総会決議により、2005 年から 2014 年までの 10 年を「国連 ESD の 10 年」とし、ユネスコが主導機関に指名されました。

2 ESD ユネスコ世界会議の概要

（1）会議名称

持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議

（2）開催日程

平成 26 年 11 月 10 日（月）～12 日（水）（閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合）

※ 11 月 13 日（木）には、フォローアップ会合を開催予定

（3）開催場所

名古屋国際会議場（名古屋市熱田区）

（4）主催

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）、日本政府

（5）参加者

国内外の閣僚、政府関係者など約 1,000 人を含む数千人規模の参加を想定

（6）目的

「国連持続可能な開発のための教育の 10 年」の活動を振り返り、2014 年以降の方策についての議論を行う。

※ 岡山市では、各種ステークホルダー会合を開催予定